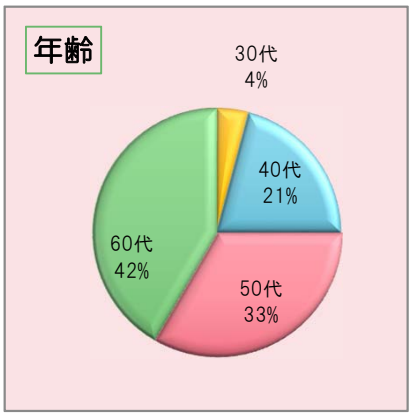
道営畑総事業　網走西地区　事業完了アンケート調査（H26年　2月調査）

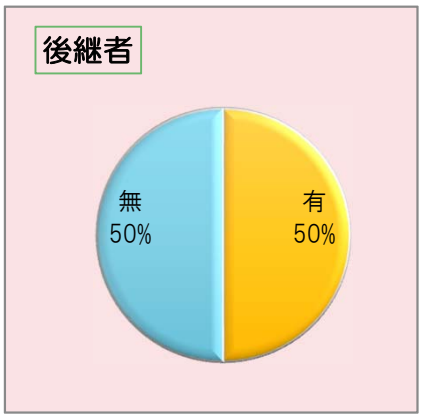
事業名	地区名	市町村	受益面積	受益戸数	採択年度	工期
畑地帯総合整備事業	網走西	網走市	732.1ha	62戸	H19	H19～H25

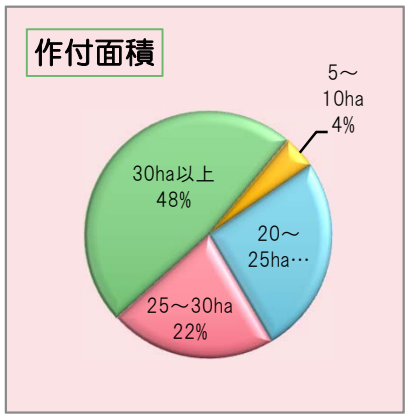
工種	工事内容					合計
	整地工	暗渠排水	客土	心土破砕	土壌改良	
区画整理	33.3ha	33.3ha	5.2ha			48.4ha
暗渠排水		465.8ha				465.8ha
土層改良			203.9ha	238.4ha	48.5ha	388.1ha

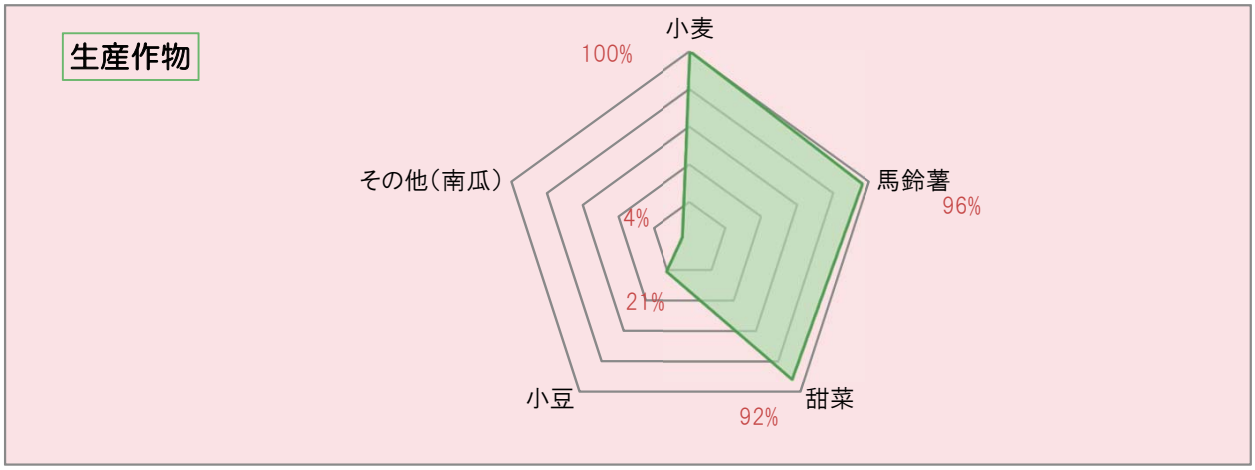
■アンケート回収率：24／62　＝38.7%

Ⅰ　基本事項







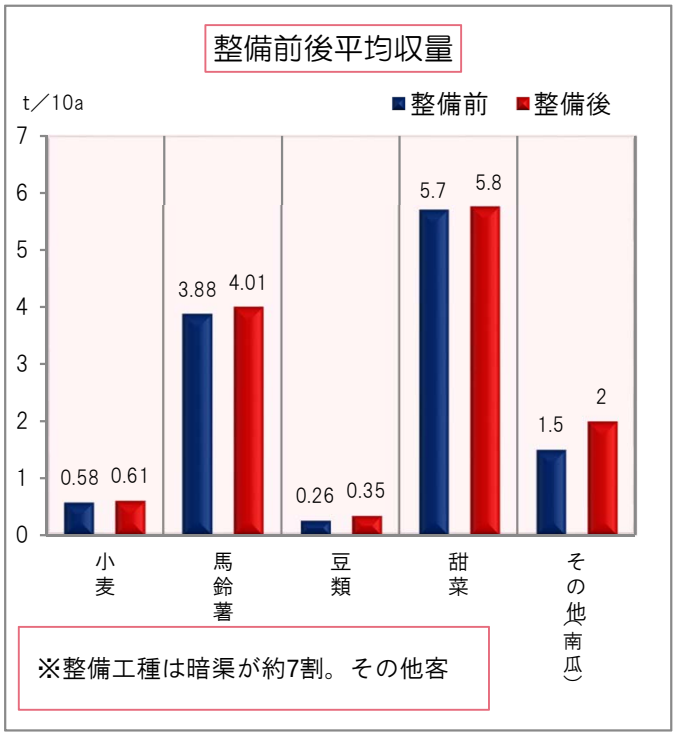


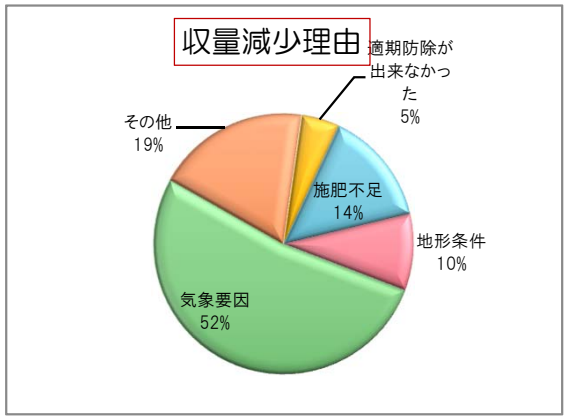
■年齢：50代以上が75%と高齢化傾向。
■後継者：50%が後継者なし。
■作付面積：25ha以上が70%。
■生産作物：麦が100%、次いで馬鈴薯96%、甜菜が92%の作付。畑作3品を主体とし、小豆の生産も作付21%。

道営畑総事業　網走西地区　事業完了アンケート調査（H26年　2月調査）

Ⅱ　事業効果

■１　収量効果：整備前の平年収量と事業整備後の平均収量及び収量が減少した場合の要因

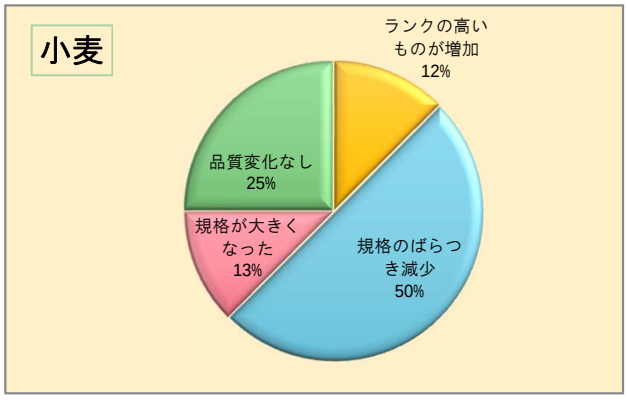


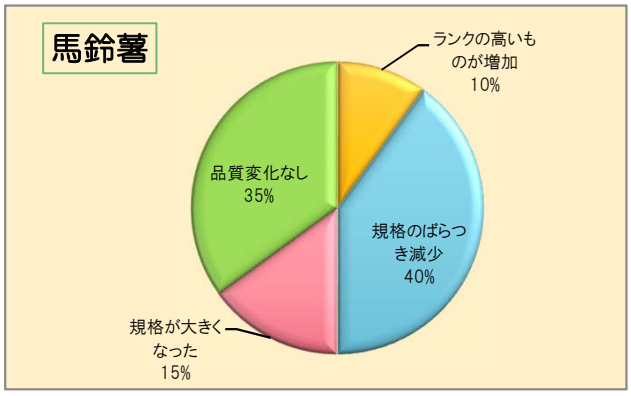


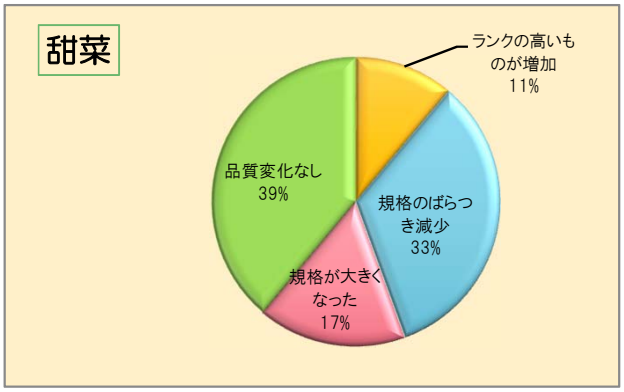
■収量は、すべての作物で収量増加。

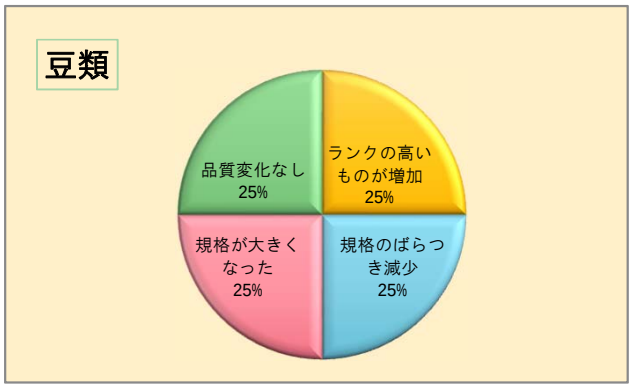
【気象要因による減少理由】
・雨の多さと、春の雪、植え付けの遅さ、干ばつ。
・春の天候不順

■２　品質変化：事業整備後の品質変化







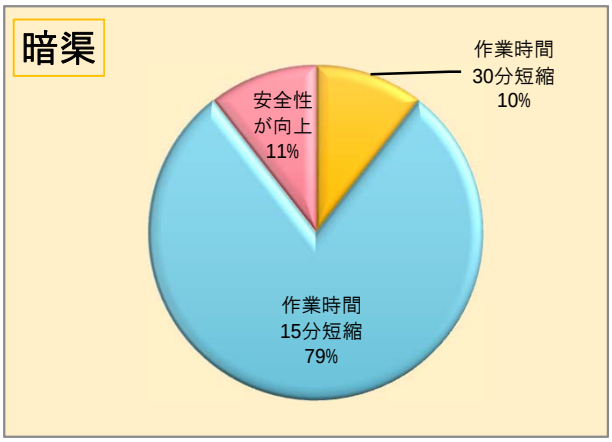


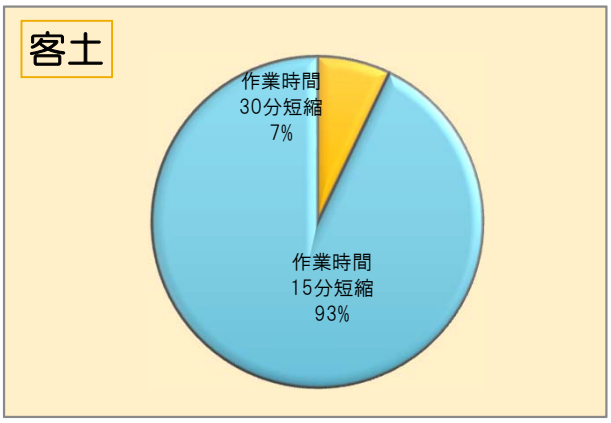
■小麦：品質の改善効果ありが7割台。　■馬鈴薯：品質の改善効果ありが6割台。
■豆類：品質の改善効果ありが7割台。　■甜菜：品質の改善効果ありが約6割。

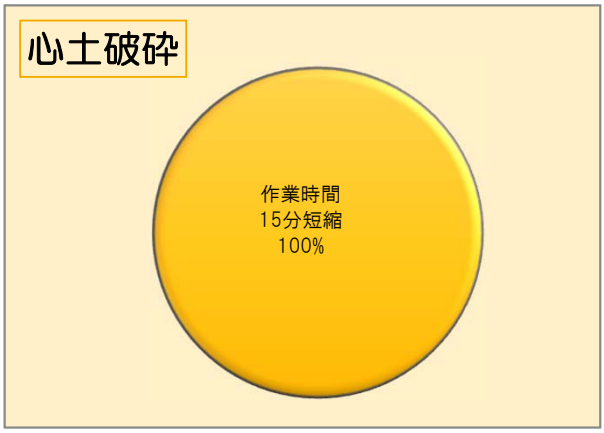
道営畑総事業　網走西地区　事業完了アンケート調査（H26年　2月調査）

■３　営農効率：事業整備後の営農効率の変化とその要因

①営農効率変化
（※1時間当たりの軽減時間）





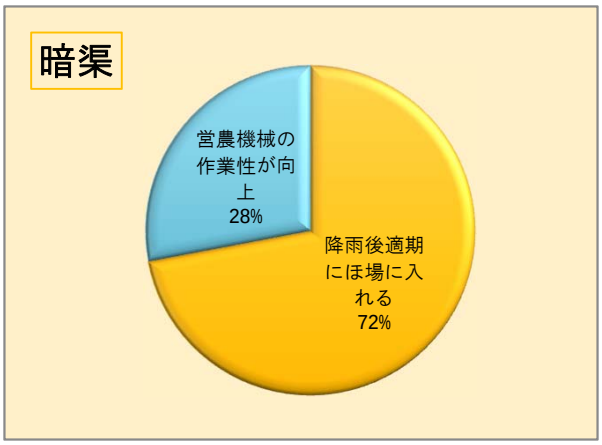


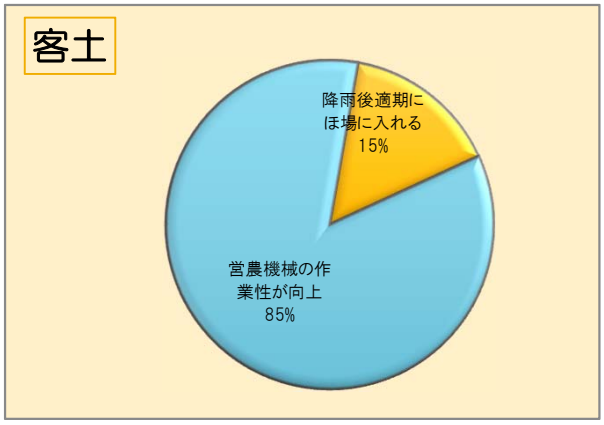
■暗渠：約9割が作業時間軽減.

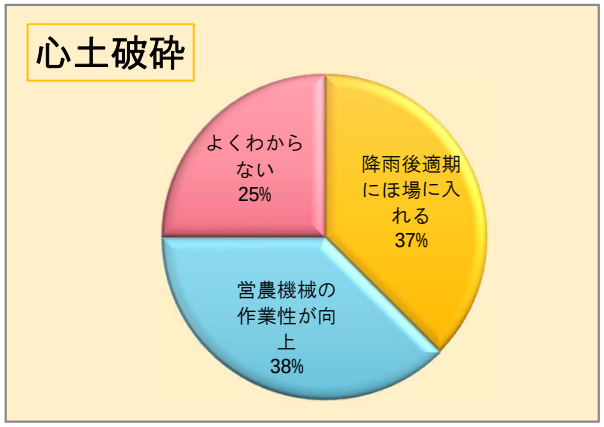
■客土：全体的に作業時間軽減。

■心土破砕：全体的に作業時間軽減。

②営農効率向上の要因







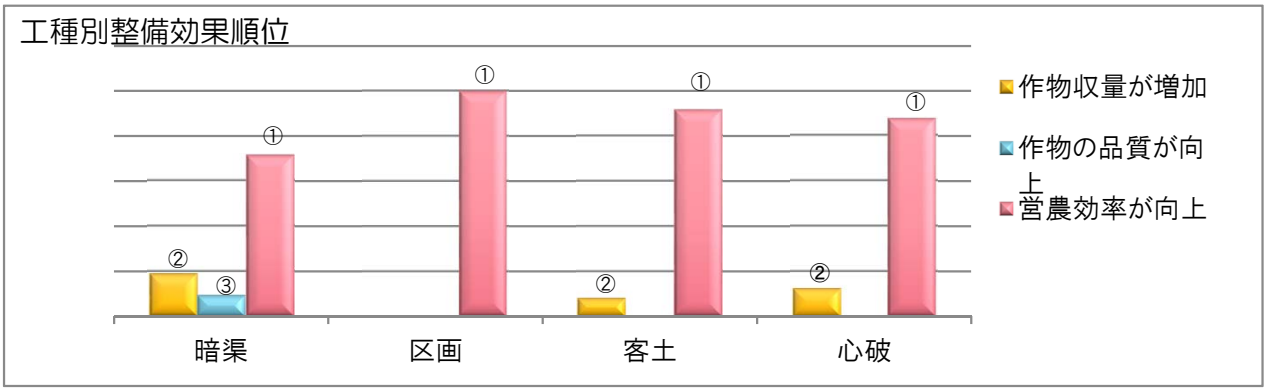
■暗渠：降雨後適期ほ場が約7割。

■客土：営農作業性の向上が約8割台。

■心土破砕：営農作業、降雨後適期ほ場とも約4割。

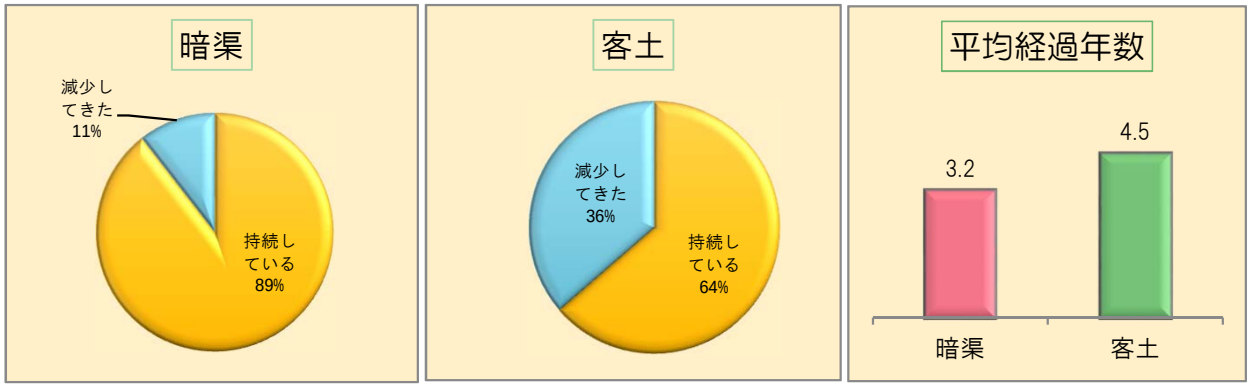
道営畑総事業　網走西地区　事業完了アンケート調査（H26年　2月調査）

■４　整備効果：効果のもっとも高かった順位。



・暗渠、区画、客土、心土破砕とも営農効率の改善が一番効果が高かったと評価。

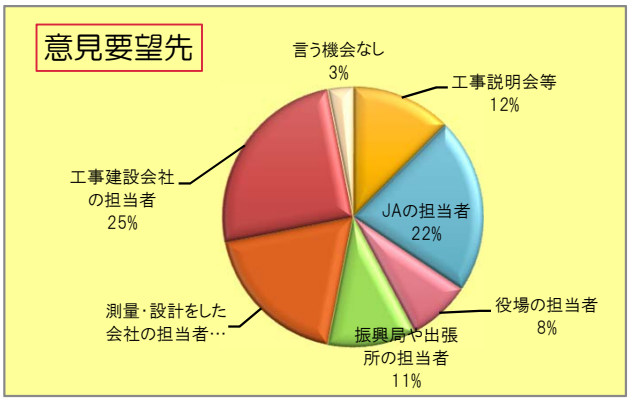
■５　事業効果持続：整備経過年数と効果の状況。



【減少理由】
■暗渠：大型機械での踏圧により効果が減少。
■客土：心土とまざり火山灰率が下がった。

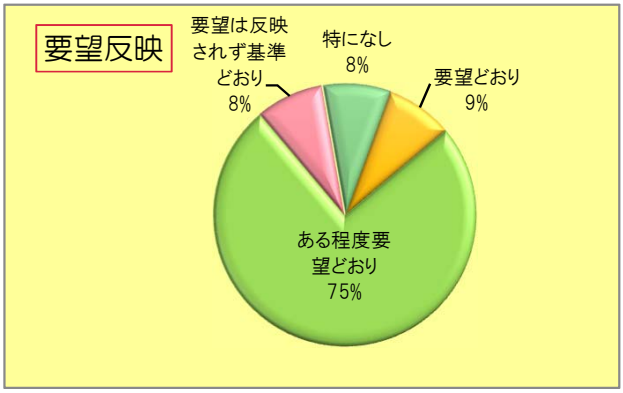
Ⅲ　工事内容

■１　工事に関しての意見要望先



■工事担当者・JA職員・測量担当者の順に高い率となった。

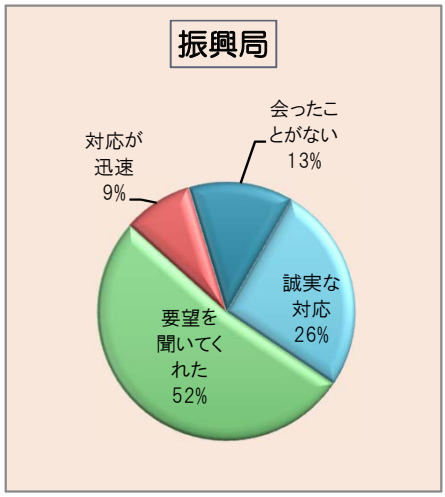
■２　工事への要望反映状況

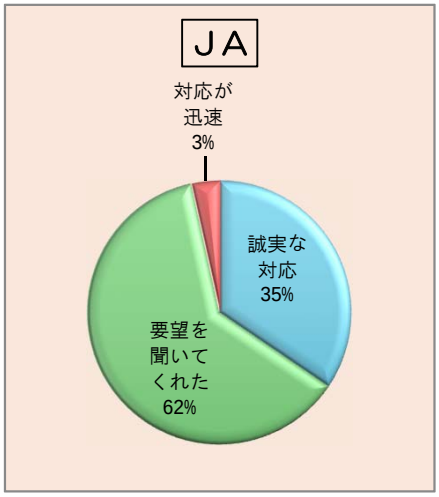


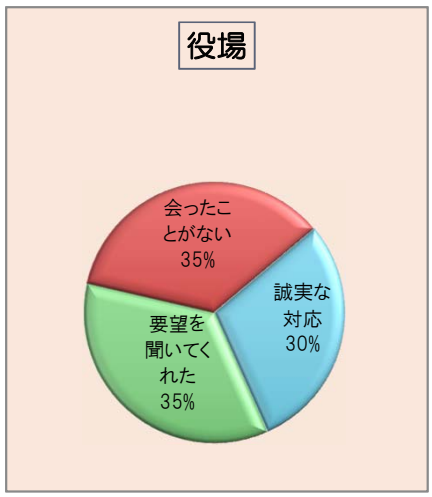
■ある程度要望どおりとの意見が約8割あった。

道営畑総事業　網走西地区　事業完了アンケート調査（H26年　2月調査）

■３　所属担当者の対応状況







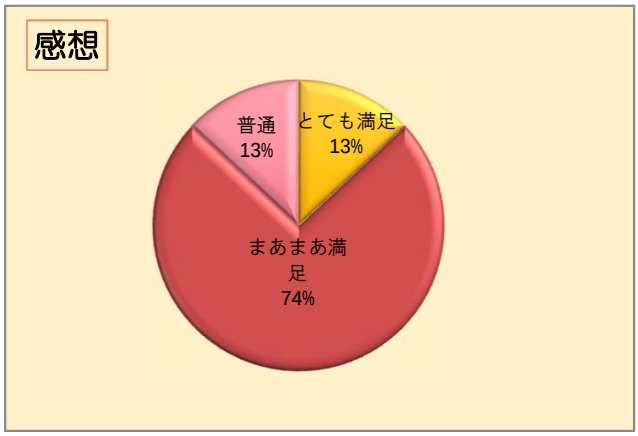
■JA･振興局が高い評価を得た。

■４　工事監督員対応評価

【良かった点】
・工事も天気を見て対応してくれた
・農家の話を聞いてくれて、方法を提案してくれた

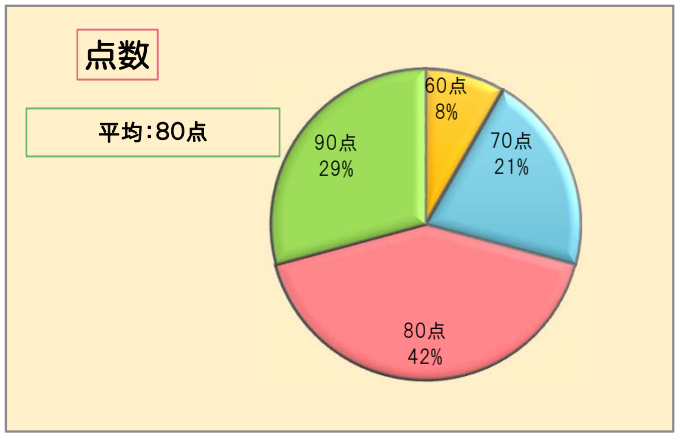
【悪かった点】
・双方の確認不足があった
・無理な施工（降雨後に施工など）もあった。

■５　工事の感想



■約9割近くが満足との回答。

■６　事業全体評価点数



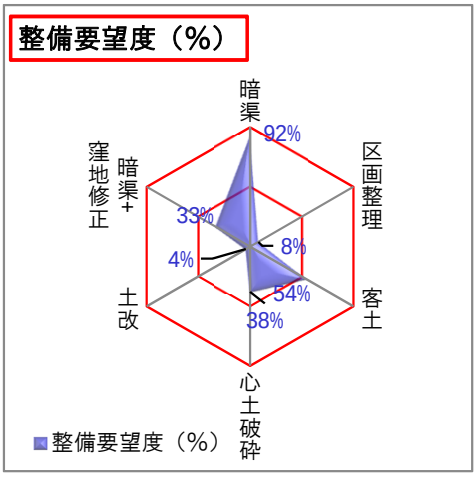
■平均点は80点評価を受けているものの、評価数は4割程度。今後の事業実施に向けての課題あり。

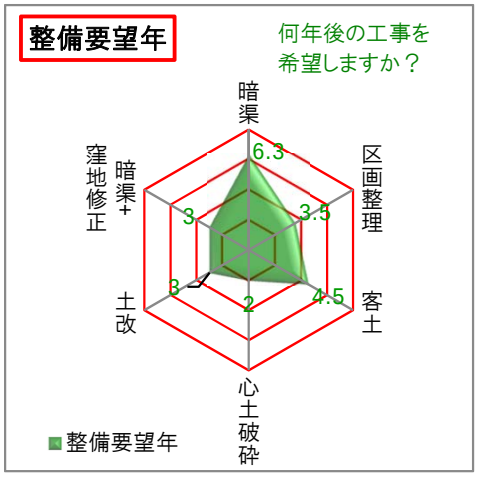
道営畑総事業　網走西地区　事業完了アンケート調査（H26年　2月調査）

Ⅳ　今後の基盤整備要望について

■１　今後の事業参加

■２　整備要望・整備要望年





■今後の事業参加：100%参加要望。

■整備要望工種：暗渠が92%と整備要望が高く、以下客土が54%、心土破砕が38%、窪地修正が33%の要望があった。

■整備要望年：暗渠は5年以上。区画整理・客土・心破・土改は5年未満の再整備を要望。

■３　今後、農業を持続していく上での課題

①営農で一番困っている課題

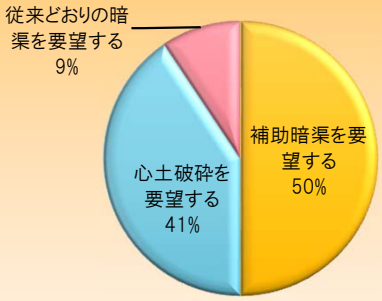
・工事費が高い
・降雨後にほ場にすぐ入れない
・収量が増えない

②基盤整備による改善

・安価な疎水材の確保
・暗渠排水の整備

■４　今後の暗渠整備要望

既設暗渠が効かなくった時、どのような工事を要望しますか？



道営畑総事業　網走西地区　事業完了アンケート調査（H26年　2月調査）

■５　今後の基盤整要望

・安価な疎水材の確保（ホタテ）

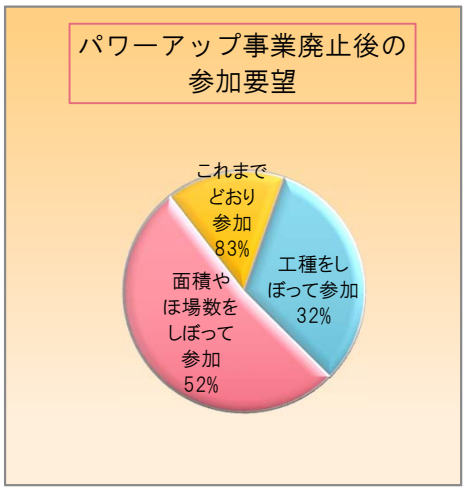
・ごぼう畑に深暗渠（H=1.2m)

・次期事業の早期着工

・地域排水の整備

・窪地修正

■６　パワーアップ事業参加



【パワーアップ事業に関する要望】

・少しでも負担が少ない制度

・現状の水準を確保

■７　全体をとおしての意見要望

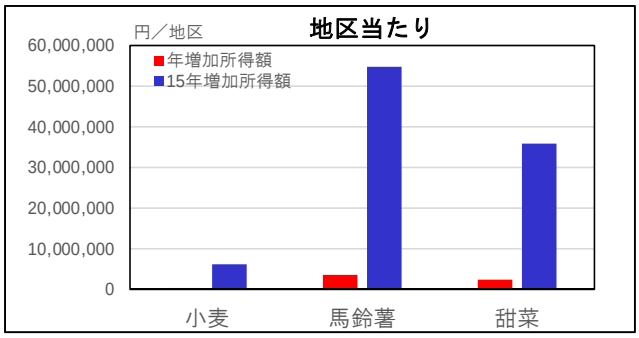
・水の処理等で新しい施工法の提案をして欲しい。

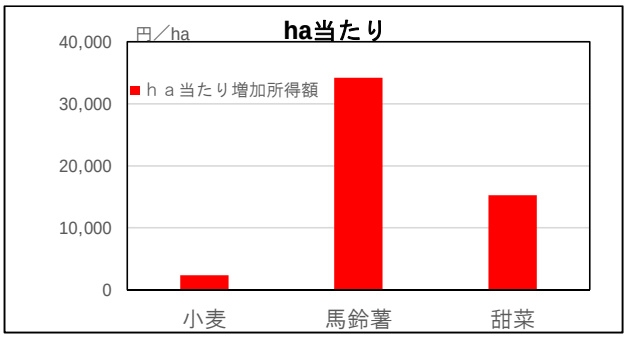
・今後とも、道ならびに市の補助にて農家負担を軽減して欲しい。

道営畑総事業　網走西地区　事業完了アンケート調査（H26年　2月調査）

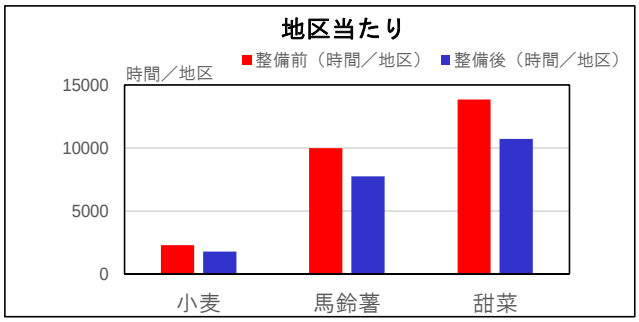
＜参考＞

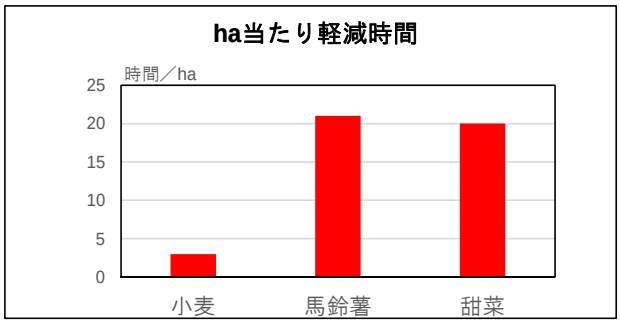
暗渠施工による所得の増加





暗渠施工後の労働時間





作物	暗渠受益面積		平均増収量	販売価格	所得率	面積当たり増加所得額	年増加所得額		総労働時間	
	作付率	作付面積(a)					地区当たり	戸当たり	整備前	整備後
	(%)	① (ha)	② (kg/10a)	③ (円/kg)	④	⑤=②×③×④ (円/ha)	⑥=①×⑤ (円/地区)	⑦=⑥/① (円/戸)	(時間/地区)	(時間/地区)
小麦	37.9%	177.3	27.2	21	0.41	2,342	415,222	7,689	2,305	1,786
馬鈴薯	22.8%	106.7	150	60	0.38	34,200	3,649,140	67,577	9,987	7,740
甜菜	33.5%	156.7	60	62	0.41	15,252	2,389,988	44,259	13,837	10,723
計							6,454,351	119,525	26,129	20,250

■暗渠受益面積：作物別の作付面積は地区の平均作付率により算出。
■面積当たり増加所得額：作物別の平均増収量、販売価格、所得率により算出。
■年増加所得額：暗渠排水の施工により増加する地区全体の所得額。暗渠受益面積と面積当たり増加所得額により算出。
■15年増加所得額：暗渠機能効果が15年持続した場合の増加所得額で、年増加所得額を15倍して算出。
※販売価格：小麦は秋まき小麦、馬鈴薯は食用馬鈴薯の販売価格を適用。
■総労働時間
・整備前：畑・野菜複合経営30haモデルの総労働時間「2,189時間」をもとに作物別のha当たり労働時間を算出
し、これと暗渠受益面積により整備前の総労働時間を算出。
・整備後：「営農の効率変化」アンケート結果により、整備前の労働時間を9割25%軽減させて算出。
・ha当たり軽減時間：整備前と整備後の労働時間の差を地区の作物別の作付面積で除して算出。
（販売価格等はJA地域農業振興計画から引用）